

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90235	西洋芸術批評史研究B	2単位 前期 (集中)	1・2	講義	小池 寿子 (非)

■テーマ

死生学の批評史研究の一環としてキリスト教の死生観を手繰る。

■授業の概要

ヨーロッパのキリスト教中世における死生観を、芸術を通じて読み解いてゆく。

■到達目標

- ・キリスト教における死生観について理解を深める。
- ・キリスト教における終末観を学ぶ。
- ・キリスト教における来世観を学ぶ。
- ・宗教における死生観・終末観・来世観の相違について考察する。

■授業計画・方法

1. キリスト教中世における死生観とは
2. 創世記から終末まで—キリスト教的歴史観
3. 最後の審判と煉獄
4. 黙示録（1）中世初期から紀元千年まで
5. 黙示録（2）ロマネスクから16世紀まで
6. 死のテーマ：「三人の死者と三人の生者」「死の舞踏」「死の勝利」「墓碑彫刻」
7. 「三人の死者と三人の生者」：北方とイタリア
8. 「三人の死者と三人の生者」と「最後の審判」：フランス壁画を例に
9. 「三人の死者と三人の生者」と「死の勝利」：イタリア壁画を例に
10. 「死の勝利」の展開
11. 「死の舞踏」の成立
12. 「死の舞踏」の展開
13. 「死の舞踏」から万人の死へ
14. 「往生術」
15. 総括

定期試験は実施しない。レポート提出

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

本講義ではキリスト教における死生観を考察するが、各自の死生観・宗教観について、また今日における死生観について考えながら受講して欲しい。

■成績評価の方法・基準

【方法】授業への取組。レポート評価。

【基準】到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

基本的事項を習得するとともに、つねに本テーマについて考察しながら、自身の意見を明確にする。

芸術文化学研究科（博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 なし

□テキスト 小池寿子『死を見つめる美術史』筑摩学芸文庫2006年。

同 『内臓の発見—西洋美術における身体とイメージ』筑摩選書 2011年

□参考文献 授業時に適宜指示する。